

『症例解析&文献評価ワークショップ 2020：高血圧』

日頃の業務で、担当患者に対する最適な薬物治療法の評価・提案方法がわからない、自信がない。論文を読む機会が少なく読み方・評価方法がわからない、症例への適用に悩んでいる。そのような経験はありませんか？病棟薬剤業務は医師のタスクシフティングにおいても協働の重要性が増しています。また、2020年9月の医薬品医療機器等法改正では、継続的な薬学的管理と患者支援および医師等への服薬状況等に関する情報の提供が明確化されています。すなわち、科学的な根拠に基づくファーマシューティカルケアの実践が求められています。本ワークショップではその基礎を学び、グループワークを通じて実際に症例解析または文献評価に取り組むことで「**症例の治療を評価する力**」と「**文献を批判的に吟味する力**」を身につけます。また、プリセプター参加の場合には本学会認定ワークショップ認定指導者のもとで、ワークショップの立案から薬物治療の科学的評価の実践について学ぶことができます。今回の対象疾患は「高血圧」です。米国では2017年、欧州では2018年、国内では2019年にガイドラインが改訂され、年齢や合併症などによる目標値も変更されています。本ワークショップを通じて、高血圧に対する薬物治療を基礎から学んでみませんか？多くの先生方のご参加をお待ちしております。

過去の開催記録：<https://www.applied-therapeutics.org/page18.html>

開催日時：2021年2月23日（火）10:00～17:00

開催方法：Cisco Webex を用いた web 開催（当日の URL は追ってご連絡致します）

定員：症例解析コース^{※1} 20名、文献評価コース^{※2} 20名

プリセプター 10名（症例解析5名、文献評価5名）

参加費：正会員^{※3} 4,500円、非会員 9,500円、学生 500円（銀行振込^{※4}）

・第14回以降の本ワークショップにご参加経験がある方は正会員 3,000円、非会員 7,000円となります。

・お申し込み後2週間以内にお振込をお願いいたします。また、お振込後にキャンセルされた場合、返金は致しません。

申込方法：下記 URL から必須事項を入力の上でお申し込みください。

申込フォーム URL：<https://forms.gle/2bAfXnZtaYsT7Tw28>



申込期限：一般参加 2021年1月31日（月）（先着順） プリセプター 2020年12月31日（木）（先着順）

【認定単位】日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師講習会の認定に加え、日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修単位、日本薬剤師研修センター(G01)研修認定単位、薬局共創未来人材育成機構薬剤師生涯研修センター(G18)研修認定単位のいずれかの取得が可能です。また、本学会のワークショップ認定指導者の認定要件一つとなっています。

※1 症例解析コースは一般社団法人薬局共創未来人材育成機構の「高齢者薬物治療認定薬剤師制度」症例検討 WS-IV（高齢者薬物治療認定薬剤師制度の認定要件となるワークショップ）も兼ねております。当該機構からのお申し込みを希望される方は Mobile Seminar を受講の上、ワークショップに参加いただけます。当該機構からの申し込みをご希望の方、当該機構の詳細はホームページをご覧ください。また、一般社団法人医薬教育倫理協会とも共催となります。

※2 文献評価コースは、東京理科大学研究推進機構総合研究院アカデミック・ディテリング部門、一般社団法人 医薬教育倫理協会との共催となります。

※3 正会員の初年度年会費は 4000 円となります。

※4 口座情報などの詳細は追ってご連絡致します。

お問い合わせ先：ワークショップ組織委員会 佐村 優（横浜総合病院） apusera.workshop@gmail.com

共催：日本アプライド・セラピューティクス(実践薬物治療)学会 <http://www.applied-therapeutics.org/>

一般社団法人薬局共創未来人材育成機構 <http://pfpd.or.jp/>

東京理科大学研究推進機構総合研究院アカデミック・ディテリング部門 <https://rist.tus.ac.jp/>

一般社団法人 医薬教育倫理協会 <https://www.amee.or.jp>

コースの概要

症例解析：自他覚症状や各種検査データから患者の病態を適切に評価したうえで患者の抱える問題点を把握し、ガイドラインや文献等をもとに根拠に基づいた薬剤選択、PK/PD 理論に基づく用法用量の設計、的確な治療モニタリング計画の立案、望ましい効果が得られない場合の対応など、科学的かつ合理的な薬物治療評価の基本的思考と実践的スキルを学びます。

文献評価：トップジャーナルに掲載された臨床研究論文を用いて、論文を読む際の注目すべきポイント、データの正しい読み取り方（統計学的視点も含む）、批判的吟味の思考を習得します。英語が苦手な方でも論文を評価できるようになることを目指します。さらに、論文の結果を症例コースの症例に当てはめられるかを議論し、科学的かつ合理的な薬物治療の実践力を高めます。

ワークショップ認定指導者制度の発足に伴い、プリセプターとしての参加者も募集します。プリセプター参加の場合、演習課題の準備や指導方針などの事前打ち合わせ（主にメール）にも加わります。

<事前学習：2/23 までに必ずご視聴ください。事前講義の URL は 1 ヶ月程度前にご連絡をいたします。>

	症例解析コース	文献評価コース
事前講義 1	講義：「高血圧の病態評価と標準薬物治療」 講師：聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 土岐 真路 先生	
事前講義 2	「高血圧治療薬の薬物動態 講義及び演習」 講師：明治薬科大学名誉教授 緒方 宏泰 先生	「前向き比較試験論文の批判的吟味と患者への適用 講義及び演習」 講師：昭和大学 薬学部 臨床薬学講座 神山 紀子 先生

<2月23日(火)>

SGD : small group discussion

時刻	症例解析コース	文献評価コース
10:00~10:15	開催趣旨説明	
	移動・休憩	
10:20~11:10	事前課題 PK 演習の解説	コースの趣旨説明 (10:20~10:30) SGD : 課題文献の批判的吟味 (10:35~11:10)
	移動・休憩	
11:15~12:05	SGD : 症例解析 エピソード 1	SGD : 課題文献の批判的吟味
12:05~12:20	SGD の共有	
12:20~13:20	昼食	
13:20~14:10	SGD : 症例解析 エピソード 1	SGD : 課題文献の批判的吟味
14:10~14:25	SGD の共有	
	移動・休憩	
14:35~15:25	SGD : 症例解析 エピソード 1	SGD : 課題文献の批判的吟味
15:25~15:50	SGD の共有	
16:00~16:45	総合討論	
16:45~17:00	修了証発行、閉会式	

参考資料：月刊薬事 2016 年 4 月臨時増刊号 (Vol.58 No.6)「病棟に行く前に知っておきたい Common Disease 外さない症例解析で薬物治療に強くなる！」(じほう)

<https://www.jiho.co.jp/shop/list/detail/tabid/272/attror/54/pdid/93490/Default.aspx>

改訂 3 版「2 ページで理解する標準薬物治療ファイル」(南山堂) <http://www.nanzando.com/books/77343.php>

第 4 版 臨床薬物動態学 薬物治療の適正化のために(丸善) <https://www.maruzen-publishing.co.jp/item/b303372.html>